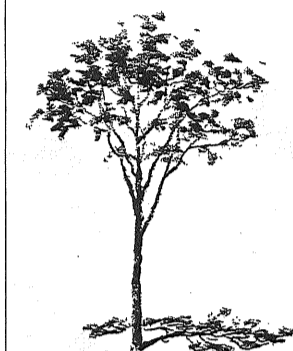


郷土の歴史 367

八潮の地名考

大瀬の地名 その巻



大瀬 現八潮市大字大瀬の地名。大瀬は、古利根川(中川)右岸の沖積地に位置し、自然堤防上に中世集落が発展する。地名の起立は、大きな川の浅瀬が発展したことに因むと言われる(八潮の民俗資料)。

にも河関が置かれ、舟運の津(湊)として栄えた。出津(古新田)などは河関に因む地名と見られる。また河関跡と目される戸ヶ崎渡し跡付近には、貞治7年(1368)頃の板碑がある。中世の大瀬は、伊勢野および古新田、坊を含む区域であったと見られる。

宝光寺の境内1反6畝20歩、自性院境内地が5畝、法積院境内地が3畝、延命院4畝20歩であった。宝光寺の開山は不詳、明和8年(1771)の密禪代に本堂・庫裡が火災に遭い全焼した。安永6・7年(1777・78)に本堂を再建、

所に藤橋が架橋されるまで、戸ヶ崎村持ちの戸ヶ崎渡し場が置かれ、馬舟人舟各二艘を置いて、江戸より総常二国の通路に備ふ一と、重要な渡河地であった。一方の猿ヶ又渡しは、江戸期は大瀬村持ちであったが、明治維新後は猿ヶ又村民が渡し番をした。その後昭和10年から下流(古新田)の新規の渡しへ移った。

文芸欄

呉美代選

詩

一喝 伊草 都築 紀子
土俵上の両力士
互いの気合いが入って
行司の軍配が返るが
待った!と一喝
手つき不十分という

短歌

木曾根 高谷 多門
はだれ雪踏みつ彼岸の墓地来れば
別れしひとの数限りなし
南後谷 杉村 セツ
秩父路の札所めぐれば清々し
疲れを忘れ切に祈りぬ

俳句

大曾根 小倉 末子
友寄れば介護の話に熱入るも
夕餼近づき皆散っていく
八潮七 深泉 清
姉死すの知らせを受くる電話口
子を励ましつわれも泣くなり

中央一 山角 微陽
入学の挨拶間延びず膝小僧
花の宴名残の提灯外さるる
八 條 杉村 知香
病む女の瞳の昏く花の冷え

木曾根 古根 昌明
散りて尚大地を彩る椿かな
水ぬるむ底をにこして魚走る
大曾根 小倉 義孝
春燈や喜怒哀楽の繰り返し

吉川市
○きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言「宣言のつどい」
●6月17日(日)、午前9時～午後4時
●市民交流センター「おあしす」ほか
●NHK健康フェア、NHK公開番組収録、健康相談・歯科検診、福祉疑似体験コーナー、模擬店、キャピック製品・農産物の即売など
◎吉川市社会福祉課 ☎82-9602

越谷市
○越谷市さつき大会
●5月30日(水)～6月3日(日)、午前9時～午後4時(6月2・3日は午後5時まで)
●越谷市立第1体育館
●白や薄紅、紫など色とりどりの鉢植えを多数展示。植木のお手入れの指導や相談のコーナーもあります。
◎無料
◎越谷市観光協会 ☎66-6111

行ってみたいな となりまち
近隣4市1町のイベント情報をお届けします。
ぜひ、お出かけください。

松伏町
○アニメ～心のふるさと～コンサート
みんなの大好きなアニメが大集合!!
●5月13日(日)、午後2時開演(午後1時30分開場)
●田園ホール・エローラ (松伏町中央公民館)
●堀江美都子さん出演、世界名作劇場「私のあしながおじさん」「フランダーズの犬」などの主題歌。※世界名作劇場のセル画展があります。
◎一般2000円、学生(高校生まで)無料
◎松伏町文化振興事業団 ☎92-1001

三郷市
○男女共同参画社会をめざす～第13回「三郷市のつどい」～
講演と創作落語で笑って考えましょう。
●5月26日(土)、午後1時開演
●落語家の桂文也さんの講演、丹後小学校児童による器楽合奏と劇
◎390人(申込順)
◎無料(申し込み者に整理券を郵送)
◎三郷市女性政策課 ☎53-1111

草加市
○そうか公園へ行ってみませんか
園内には自由広場、修景池、四季の森・市民の森、テニスコート(有料)、多目的広場(有料)、ウォーキングコースなどが整備されています。5月はライラック、サツキ、ハナミズキなどが見頃です。草加駅からバスで老人福祉センター行き終点下車、または青柳循環「総合グラウンド前」下車徒歩3分
◎草加市みどりの協会 ☎31-9833

郷土の歴史 368

八潮の地名考

大瀬の地名 その式



大字大瀬 明治22年(1889)から現在に至る八潮地域の大字名。近世の大瀬村が、町制制にもない、南埼玉郡潮止村の大字となり、現在に至る。なお大正15年(1926)に古利根川(中川)が直道に開削され、大字が二分。それから中川の西側を大瀬、東側を下大瀬と呼称される。

村組は上と中に分かれる。また小名の下は、ほぼ中川左岸の集落名で、村組は根郷と下に分かれる。地租改正時のおりの耕地地名は、明治9年頃の「村誌」でみると中瀬、土腐、茨田、沖、神田、道免石崎、道免上通、丸野下河原、下河原大瀬、根郷通、下通などであった。昭和47年ごろの公図による字名は、中瀬、土腐、茨田、沖、神田、根郷、丸野下河原、下河原大瀬、根郷、下通などである。

上通 上通耕地とも呼ばれ、上組を通る松戸道沿いの集落地名。古利根川の自然古道は、松戸道と呼ばれ、主要な松戸道をネドオリと別称した。そのネドオリに沿って集落を、北から上、中、根郷、下などの村組名を付したのが、大瀬の地名となっている。なお上通は、昭和2年からの潮止村耕地整理にともない昭和12年に地名変更をし、根郷となる。

どと呼ばれ、沼や溜池等の跡地を開発し、深い水田を呼ぶ。土腐は、耕地整理後、字神田と地名変更。茨田 茨のように土が堅く素足が痛くなるほどの乾田地に因む地名。茨田は、耕地整理後、字神田と地名変更。沖 沖田耕地とも呼ばれ、ムラオキと呼ばれた木曾根新田の隣地の耕地で、集落地から沖にあることに因む地名。沖は、耕地整理後、字神田と地名変更。

字神田 神の栽培地及び神の繁茂に因む地名。潮止村耕地整理後の昭和12年頃、大正落し堀東側の道免石崎や道免、茨田、沖田、土腐などの字地が神田となった。字神田は、530〜931番地の区域。道免 道管理の経費にあてる免田地に因む地名。道免の大正落し堀西側は、耕地整理後、字神田と地名変更。道免石崎 道免石崎耕地と呼ばれる。石崎は、八條用水が新田のところで分水した中井堀が、南川崎と伊勢野へ注ぐ分水路先(水口)に石を用い

文芸欄

呉美代選

詩

短歌

俳句

花火

実家で花と花火を見た  
野良着姿で花火を見ている母は  
土の匂いがした  
私が子どものころは、戦争の末期で  
空襲が続き、夜空が真っ赤になった  
「母ちゃん・空が燃えているよ」  
そう言うと、母の顔が  
不安そうに曇った  
東京に住む叔母を案じたのだろう  
その数日後  
焼け焦げた風呂敷包みを背負って  
叔母が帰ってきたのだ  
花火が 一気に上って  
大輪の花を咲かせている。

遥かなる北国の友偲びて  
ライラック咲く花冷えの庭  
木曾根 高谷 多門  
ふるさとのリンゴ島は花満ちて  
農婦らの顔晴れやかに笑む  
南川崎 小野塚喜代子  
校庭をめぐる網目をくぐりぬけ  
小雀飛べり朝日に向ひ  
南川崎 伊本 則子  
あと追いつ幼児連れてミニ散歩  
婆になりにくる出勤の朝  
鶴ヶ曾根 斉藤 道子  
蒲公英も勿忘草も花愛し  
草むしりの手ふと止めて見る  
南後谷 杉村 セツ  
香り立つ花園のなか蝶舞いて  
うららかな春の訪れを告ぐ

八潮七 佐藤 千和  
子も孫も長生きしてねと集い来て  
子供の日なれど我がペースデイ  
柳之宮 平沼 良子  
孫抱きてふと蘇るみどり子に  
乳やりし日の胸の疼きを  
坊 小澤千代子  
早朝に人声弾み川面にも  
桜舞い散り花筏になる  
八潮七 深泉 清  
ただ一度妻に贈りし腕時計  
質流れなれど今もしてをり  
南後谷 小田三重子  
気を使う友の言葉のやさしさの  
胸にしみ入り涙押さえぬ  
中央一 猪瀬 利助  
うつつらと車に降りたる早朝の  
雪は陽に映え輝きており  
西袋 鈴木 厚子  
街路樹の根元を彩る花つじ  
紅やうす紅あざやかに燃ゆ

二丁目 平井 石龍  
尻立てて蜂がむさぼる花の芯  
霜柱踏みつつ行軍偲びをり  
八 條 杉村 知香  
子の数に盛られてゆくやさくらんぼ  
風薫る車中の手話の二人連れ  
緑町五 加藤 龍子  
長旅を終えて安らぐ初つばめ  
大曾根 小倉 花子  
掴んだり崩してみたり春の土  
鶴ヶ曾根 平本 愛子  
春の雨茶柱立ちて和みけり  
八潮七 石井 忠枝  
初つばめ電線かすめ宙がえり  
南後谷 園田 博枝  
手さぐりの土入れ替えて五月晴れ  
木曾根 古根 昌明  
ままごとの招かぬ客や春風

八潮七 小倉 孝義  
岐阜城を登れば長蛇長良川  
八潮六 藤崎 政子  
振り返ることなく北へ鳥帰る  
大曾根 小倉 義孝  
山村に農継ぐ子がいて鯉のぼり  
雨止めばすでに夏日や隅田川  
大曾根 日方美代子  
花筏風の吹くまま西東  
緑町五 村田 恭子  
風薫る憂きことしばし忘れいし  
坊 沼野 あい  
杖拾う山の旅路や著我の花  
緑町五 藤波 ふみ  
黄昏にみかんの甘い花匂う  
鶴ヶ曾根 斉藤 初子  
牡丹の背高く咲いて風纏う  
子等巣立ち庭のふらふら風のごぐ  
へ評 説明でなく感性に響くような発見的  
な作品をお待ちいたします。

市民の皆さんの投稿をお待ちしています。

【応募先】〒340-8588 八潮市中央一―二―一  
八潮市役所広報課広報係

越谷市

- 市民能楽養成事業10周年記念大会  
●6月9日(土)、午前10時～午後6時  
●日本文化伝承の館こしがや能楽堂(天候不順のときはサンシティ)(JR武蔵野線南越谷駅北口から花田または市立図書館きの朝日バスで「花田苑入口」下車)  
●平成2年度から実施してきた市民能楽養成事業の修了生による発表会。(入場無料)  
●社会教育課文化振興係 ☎63-9283

松伏町

- B&G海洋センター・プール  
6月23日(土)オープン!  
●①午前9時～11時30分、②午後1時30分～4時30分、③午後5時30分～7時30分(③のみ中学生以下は保護者などの送迎が必要)※水温・気温によっては中止になることがあります。  
●3歳児以下は入場できません。水泳帽子着用。  
●東武伊勢崎線北越谷駅東口からエローラ行きバスで「中央公民館前」下車。  
●松伏町B&G海洋センター ☎92-1291

行ってみたいな となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。



草加市

- 堀内孝雄コンサート  
●6月29日(金)、午後6時30分開演  
●草加市文化会館ホール(松原団地駅下車徒歩5分)  
●〈全席指定〉S席5500円、A席5000円、B席4500円  
●前売りは、草加市文化会館 ☎31-9325、新皇草加駅前ビル店 ☎22-6536、東武よみうりサービスセンター ☎87-0553  
●草加市文化会館 ☎31-9325

吉川市

- 中井沼公園の花しょうぶが見ごろです!  
吉川市は花しょうぶの特産地として知られています。中井沼公園では水辺を囲むように咲き誇る900株の花しょうぶを楽しむことができます。  
●中井沼公園(吉川市中井)(吉川駅北口からネオポリス行きバス終点下車、東側に向かって徒歩5分)  
●吉川市都市整備課 ☎82-9901

三郷市

- 市民ホールコンサート  
ウィーンの音楽仲間たちが奏でる名曲の数々  
●6月30日(土)、午後2時開演  
●三郷市役所市民ホール(1階)(JR武蔵野線三郷駅から「三郷市役所経由松戸駅行きバス」で三郷市役所下車)  
●浦川玲子(ピアノ)、遠藤尚子(フルート)、櫻井慶喜(チェロ)  
●入場無料(定員200人先着順)  
●三郷市自治文化課 ☎53-1111